

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	恵庭市子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	7年2月3日 ～ 7年2月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	7年2月3日 ～ 7年2月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	7年2月3日 ～ 7年2月14日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園等の勤務経験があり、尚且つ障害児通所支援の経験を持つ支援員を配置しているため、双方の立場を理解したうえで支援の提供ができる。	おこさんへの対応の仕方や、環境設定の工夫、行事や戸外活動の際の取り組み方など、保育現場で推測される困りごとに、支援員自身の経験を活かして助言することができます。	おこさんが日中生活する場として、安心できる居場所となるよう支援を継続していきます。
2	おこさんの状況に合わせた丁寧な支援を提供している。	定期的な発達評価や、集団生活でのおこさんの状況や成長、保護者や園からの要望に合わせたプログラムを実施しています。訪問先と支援後のカンファレンス、保護者との面談で共有してすすめています。	利用児童の低年齢化や肢体不自由児など、対象児童の状況の変化にも対応できるよう、人材育成をおこない質の向上に努めます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の保育理念を尊重したうえで、可能な支援について共通認識を図ること。また、保護者と訪問先が良好関係を築けるような支援を提供すること。	保護者と面談の機会を設けていますが、就労などで日程調整が難しい時があります。日々の支援内容だけでなく、保護者からの相談に丁寧に対応したいと思っていますが、時間が十分に取れているのかと感ずることがあります。	保護者にはできるだけ、支援の内容を丁寧に説明し、安心して支援を受けてもらえるよう努めてまいります。 訪問先と事業所がお互いの立場を尊重し合いながら、おこさんにかかわることで、保育や支援の質の向上につながると思いますので、一層努力してまいります。
2			
3			